

豊明市道路掘削跡復旧構造図

a: 掘削幅 b: 影響幅 単位:(mm)

一般舗装道路(※1)	一般舗装道路・幹線道路(※2)	都市計画道路(B交通)	一般舗装道路(コンクリート舗装)	歩道
仮舗装復旧(短期、長期)	歩道乗入れ(コンクリート舗装)	特殊歩道舗装	特殊歩道舗装(乗入れ)	未舗装道路
()有: 舗装復旧1ヶ月未満 ()無: 舗装復旧1ヶ月以上	()有: 大型車 ()無: 普通車		()有: 大型車 ()無: 普通車	

注意事項

- 平均車道幅員が4.0m以下で、大型車両の通行が通常ない一般舗装道路の場合は、「一般舗装道路(※1)」を適用する。
- 平均車道幅員が4.0mを超える一般舗装道路、幹線道路及び埋設管の土被りが1.5mを超える場合は、「一般舗装道路・幹線道路(※2)」を適用する。
- 各戸引込管及び道路横断の舗装復旧構造は、「一般舗装道路・幹線道路(※2)」以上の構造とし、復旧幅(道路の縦断方向)は2.0m以上を原則とする。
- 影響幅は、掘削部分の端から片側0.3mを標準とし、舗装復旧前に道路管理者と立会いにて決定する。なお、舗装新設後1年未満の場合は、全面舗装復旧とする。
- 埋戻土の材料は、砂又は同等品以上の材料を使用すること。
- アスファルト舗装の場合は、舗装前に必ず路盤面に乳材(プライムコート)を散布し、舗装厚が二層以上になるときは、各層毎に乳材(タックコート)を散布すること。
- コンクリート舗装の場合は、舗装前に必ず路盤面に路盤紙を敷き、コンクリート内(厚さの1/2)に舗装用金網を挿入し、舗装切断線には目地材を入れること。
- 舗装本復旧は、既設舗装の打ち継ぎ目から1.0m未満の場合、道路管理者と協議し舗装範囲を決めること。
- 歩道舗装の縦断本復旧は、道路管理者と協議を行うこと。